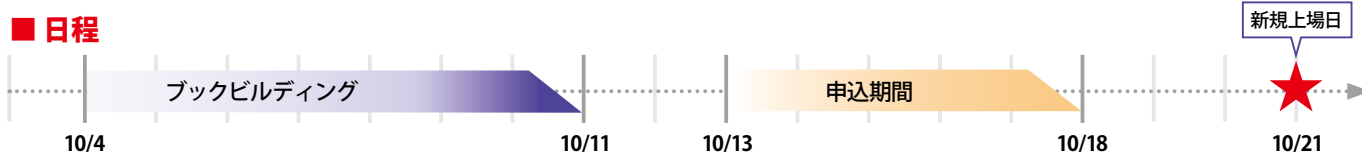


IPO銘柄 ユーザベース (3966・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3966	100株	公募: 54.30万株 売出: 19.33万株 (OA11.04万株)	2,190円~2,510円 (199.0倍)	みずほ証券



業界情報プラットフォーム、および経済ニュースサービスを提供

■ 事業内容

「経済情報で、世界をかえる」をミッションとし、オンライン情報プラットフォーム「SPEEDA」、経済ニュースプラットフォーム「NewsPicks」の運営を手掛ける。「SPEEDA」は世界200カ国380万社以上のデータが550業界に分類・分析されたデータベース。直感的な操作で必要とするデータを簡単に探せるほか、「SPEEDA」上でデータの加工、編集もできる。「NewsPicks」は90以上の国内外メディアが配信する経済ニュースをワンストップで読める上、独自のコンテンツ提供も行っている。会員ユーザー数は約150万人で、有料課金ユーザー数は約2万人。16年12月期第2四半期累計(1~6月)の売上高構成比は「SPEEDA」事業が71.9%、「NewsPicks」事業が28.1%。

■ 特徴

「SPEEDA」はユーザーからの月額利用料金が収入源。コンサルタント、アナリストに、分析、リサーチを依頼することも可能だ。現在の契約ID数は1,200超で、シンガポール、香港、上海に販売子会社を構え、海外展開も推進している。独自性が高く競合の見当たらないサービスとして有望視されている。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年12月期の連結経常利益は1億1,700万円を計画する。前期実績は3億3,800万円の赤字。業績は前期まで赤字続きで今期黒字浮上する見通しのため、IPOのタイミングとしては少し早い印象もある。「NewsPicks」事業が黒字化して成長局面に入っている。

■ 定性分析

主力の「SPEEDA」事業は独自性が強く、明確な競争相手もないことから継続的な成長が期待できるビジネス。機関投資家などは、ユーザーとして同社サービスを活用している場合も多く、認知度の高さも含めてポジティブな評価となっているようだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は21億円程度。知名度の高い案件ではあるが、新興市場上場案件としては荷もたれ感が意識される規模となっている。公開価格の1.5倍水準でロックアップが解除されるベンチャーキャピタル保有株の多さも気になる。(小泉健太)

■ 類似企業

ユーザベース(3966・マザーズ)	予想PER199.0倍 (仮条件上限)
データセクション(3905・マザーズ)	予想PER734.3倍
Gunosy(6047・マザーズ)	予想PER27.0倍

■ 引受証券

みずほ証券、マネックス証券、SMBC日興証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、野村証券、大和証券、SBI証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年12月期(実績)	1,122	—	-395	—	-397	—	-64.9	0.0
15年12月期(実績)	1,915	70.5	-338	—	110	黒転	17.1	0.0
16年12月期(会社予想)	3,045	59.0	117	黒転	83	▲24.3	12.6	0.0

※ 14年12月期から連結決算。16年7月に株式分割(1株→3株)を実施。
14年12月期、および15年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年12月期	2,110,800	733	216	397	-25.1	29.5	—
15年12月期	2,180,569	1,689	656	547	44.7	37.2	26.2

※ 14年12月期、および15年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	新野 良介	1,932,564	26.25
2	梅田 優祐	1,932,564	26.25
3	稲垣 裕介	675,372	9.17
4	Globis Fund III, L.P.	580,899	7.89
5	Financial Intelligence Services Ltd.	369,600	5.02
6	マネックスベンチャーズ	215,778	2.93
7	プログビジネスファンド投資事業有 限責任組合	198,000	2.69
8	テクノロジーベンチャーズ3号投資事 業有限責任組合	183,984	2.50
9	Globis Fund III (B), L.P.	166,731	2.26
10	竹内 秀行	147,135	2.00

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長(共同経営者)	新野 良介
代表取締役社長(共同経営者)	梅田 優祐
取締役 COO	稲垣 裕介
取締役	松本 大
常勤監査役	嶋田 敬子
監査役	琴坂 将広
監査役	松本 真輔

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。